

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月3日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2009～2012

課題番号：21242024

研究課題名（和文） ヨーロッパ・地中海世界における異宗教・異宗派間の相剋と融和をめぐる比較史研究

研究課題名（英文） Conflict and Reconciliation among Confessions and Religions in Medieval and Modern Europe and Mediterranean World: Study of Comparative History

研究代表者

深沢 克己（FUKASAWA KATSUMI）

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号：60199156

研究成果の概要（和文）：当初の研究計画に即して、国際ワークショップと国際シンポジウムを3年連続で組織し、第一線で活躍する合計14名の研究者を世界各国から結集して、キリスト教諸宗派、イスラーム、ユダヤ教などを対象に、広域的な視野のもとで異宗教・異宗派間の関係を比較史的に研究した。これにより得られた共通認識をふまえて、研究者間の濃密な国際交流ネットワークを構築し、研究代表者を編集責任者として、全員の協力による共著出版の準備を進めることができた。

研究成果の概要（英文）：In accordance with our original plan, we organized a number of international workshops over three consecutive years. In total, 14 renowned foreign historians were invited to these events. As the result, we succeeded in studying inter-religious and inter-confessional relationships between different Christian denominations, Islam, and Judaism from a comparative historical viewpoint and within a broad context. The common intellectual ground established through our research project, resulted in a dense international network of academic exchange, which is now moving towards a collective publication edited by the research leader.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	8,300,000	2,490,000	10,790,000
2010年度	8,400,000	2,520,000	10,920,000
2011年度	8,400,000	2,520,000	10,920,000
2012年度	9,400,000	2,820,000	12,220,000
年度			
総計	34,500,000	10,350,000	44,850,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：キリスト教、イスラーム、宗派对立、宗教的寛容、他者性

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 現代世界において宗教問題の比重が増大した結果、歴史学界では宗教史への新しいアプローチが探究され、宗教対立を内包する国際紛争が多発し「グローバル化」とともに宗教的他者の存在が日常化するにつれて、異宗教・異宗派間の共存と他者受容の問題とが歴

史学の課題として浮上していた。

(2) 研究代表者がこれまで組織した2件の科学研究費補助金事業「ヨーロッパにおける宗教的寛容と不寛容の生成・展開に関する比較史的研究」および「ヨーロッパにおける宗教的・秘儀的な団体・結社に関する比較社会史的研究」の成果を通じて、社会学的な受容・

排除と思想的な相剋・融和とを総合しつつ、一神教的宇宙論を共有するヨーロッパとイスラム世界とに通底する宗教構造の解明を目指す段階に到達した。

## 2. 研究の目的

- (1) 研究組織構成者は西方カトリック世界・プロテスタント諸国・東方正教会・イスラム圏のそれぞれについて、各自の専門領域を超えて宗教的他者性の一般構造を仮説的に提示し、議論の枠組みの提示を試みる。
- (2) 各研究者の個別研究を相互に比較し関連させることにより、国民史・一国史の枠組みを脱却し、真に国際的・広域的・普遍的な課題を再発見する。
- (3) 国際ワークショップ・国際シンポジウムを開催して、わが国の研究水準を国際舞台に明示し、またアジア史研究者とも協力しつつ、ヨーロッパを中心的な対象に据えつつも、開かれた比較研究の場を創出する。

## 3. 研究の方法

- (1) 年2回、研究会を開催し、各研究者の専門研究の報告を行った。
- (2) ヨーロッパ・中東地域で史料調査を行うとともに、現地研究者との協力体制を築いた。
- (3) ホームページを開設し、研究内容を外部に発信した。
- (4) 2年目と3年目に国際ワークショップを、4年目に国際シンポジウムを開催し、本研究の成果を集約して公表した。

## 4. 研究成果

- (1) 研究組織構成者は、研究会・ワークショップ・国際シンポジウムへの参加を通じて、各人の専門分野で宗教問題の重要性を再認識しつつ、それを議論する共通の枠組みを自覚的に探究し、議論の方法を習得した。
- (2) 平素は交流の少ない異なる専門分野の研究者が持続的に情報交換と討論とを重ねることにより、歴史研究の情報共有の幅を飛躍的に拡大し、今後の共同研究のために多様な広汎な交流ネットワークを構築した。
- (3) 組織構成者全員が海外研究者招聘に関与することにより、各専門分野での国際交流を充実させると同時に、それらを統括する研究集会を通じて、本研究組織を十字路とする国際共同研究の実績をあげ、ヨーロッパの出版社から共著を刊行する計画を確定した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計59件)

- ① NISHIKAWA, Sugiko, “The World of J.C. Werndli: Zurich, Sandtoft and Wraisbury”, Jane McKee and Randolph Vigne (eds), *The Huguenots: France, Exile and Diaspora* (Brighton: Sussex Academic Press), 査読有, 2013, pp. 166-172
- ② KATO, Makoto, “Jews in Late Medieval Navarre”, 『日本女子大学紀要文学部』, 査読無, 62, 2013, pp. 69-77
- ③ 深沢克己「近世フランスの王権と宗教—比較の視点から」『アジア遊学』, 査読無, 151, 2012, pp. 132-142
- ④ 深沢克己「啓蒙期フリーメイソンの儀礼と位階—石工伝統から騎士団伝説へ」『白山史学』, 査読有, 48, 2012, pp. 27-61
- ⑤ 深沢克己「啓蒙期ヨーロッパのインド趣味—更紗流行の社会文化史的意義について」『国際服飾学会誌』, 査読有, 42, 2012, pp. 4-15
- ⑥ FUKASAWA, Katsumi, “Du Rite français au Rite écossais rectifié. Le choix de la Loge de la Triple Union de Marseille à la fin du XVIII<sup>e</sup> siècle”, in *Diffusions et circulations des pratiques maçonniques XVIII<sup>e</sup>-XX<sup>e</sup> siècle* (Paris: Garnier), 査読有, 2012, pp. 63-81
- ⑦ FUKASAWA, Katsumi, “Claude-François Achard dans sa jeunesse: médecin, académicien et franc-maçon marseillais à la fin du XVIII<sup>e</sup> siècle”, *Provence historique*, 査読有, 62, 2012, pp. 11-24
- ⑧ 黒木英充「中東の都市研究に新たなツール—東京外大 AA 研・多層ベースマップシステム」『SEEDer』, 査読無, 7, 2012, pp. 85-85
- ⑨ 黒木英充「レバノン内戦の開始(一九七五—一九〇年)」『世界史史料 11』(岩波書店), 査読無, 2012, pp. 271-272
- ⑩ 黒木英充「イスラエルのレバノン侵略(一九八二年)」『世界史史料 11』(岩波書店), 査読無, 2012, pp. 365-367
- ⑪ NISHIKAWA, Sugiko, “Protestant Propaganda in a Cold War of Religion: From the Hartlib Circle to the Society for Promoting Christian Knowledge”, *Lithuanian Historical Studies*, 査読有, 16, 2012, pp. 43-45
- ⑫ 堀井優「ヴェネツィア人領事が見たエジプトとその周辺—16世紀の商業と行政をめぐって」鈴木董編『オスマン帝国史の諸相』(山川出版社), 査読無, 2012, pp. 40-60

- ⑬ KATSUTA, Shunsuke, “Conciliation, anti-Orange politics and the sectarian scare: Dublin politics of the early 1820s”, *Dublin Historical Record*, 査読無, lxiv (2), 2012, pp. 142-159
- ⑭ 勝田俊輔「ブリテン諸島史再考」『歴史と地理 世界史の研究』, 査読無, 233 (No. 659), 2012, pp. 55-59
- ⑮ 深沢克己「高校世界史と大学の歴史教育を結ぶもの」『学術の動向』, 査読無, 2011-10, 2011, pp. 24-27
- ⑯ 深沢克己「小花模様の茜染更紗、またはヨーロッパ捺染の起源について」『Dresstudy』, 査読無, 59, 2011, pp. 4-9
- ⑰ 深沢克己「友愛と秘密への道のり」『UP』, 査読無, 461, 2011, pp. 20-24
- ⑱ 深沢克己「18世紀末フランスの知的エリートとフリーメイソン—マルセイユの医師アシャールの内面的軌跡」『史苑』, 査読有, 72-1, 2011, pp. 57-76
- ⑲ 齊藤寛海「黒海のイタリア商人」『ヨーロッパ・グローバル化と諸文化圏の変容 研究プロジェクト報告書』, 査読無, 5, 2011, pp. 185-203
- ⑳ 齊藤寛海「ペゴロッティの商業実務とバドエルの元帳」『Accounting, Arithmetic & Art Journal』, 査読無, 24, 2011, pp. 2-12
- ㉑ 黒木英充「レバノンとアラブ「二〇〇一年革命」」『現代思想』, 査読無, 39-4, 2011, pp. 194-199
- ㉒ 黒木英充「アラブ革命の歴史的背景とレバノン・シリア」酒井啓子編『〈アラブ大変動〉を読む—民衆革命のゆくえ』(東京外国語大学出版社), 査読無, 2011, pp. 91-103
- ㉓ 黒木英充(板垣雄三他10名と共著)「予め破綻した戦争の後に—世界と中東の「いま」を問う」『現代思想』, 査読無, pp. 39-13, 2011, pp. 94-118
- ㉔ 堀井優「16世紀オスマン帝国の条約体制の規範構造—ドゥブロヴニク、ヴェネツィア、フランスの場合」『東洋文化』, 査読無, 91, 2011, pp. 7-24
- ㉕ 加藤玄「中世ウエストミンスター宮殿の壁画群」伊原弘編『「清明上河図」と徽宗の時代』(勉成出版), 査読無, 2011, pp. 324-331
- ㉖ FUKASAWA, Katsumi, “L’histoire française moderne vue du Japon : la place incertaine du XVII<sup>e</sup> siècle”, *XVII<sup>e</sup> siècle*, 査読有, 248, 2010, pp. 491-498
- ㉗ 齊藤寛海「ヴェネツィアの市場」山田雅彦編『伝統ヨーロッパとその周辺の市場の歴史』(清文堂出版), 査読無, 2010, pp. 95-122
- ㉘ 黒木英充「オスマン帝国におけるギリシア・カトリックのミット成立—重層的環境における摩擦と受容」深沢克己編『ユーラシア諸宗教の関係史論—他者の受容、他者の排除』(勉誠出版), 査読無, 2010, pp. 171-199
- ㉙ 西川杉子「マルタ十字から赤十字へ—近代の聖ヨハネ騎士団をめぐる」深沢克己他編『友愛と秘密のヨーロッパ社会文化史—古代秘儀宗教からフリーメイソン団まで』(東京大学出版会), 査読無, 2010, pp. 199-226
- ㉚ HORII, Yutaka, “Some Characteristics of the Ottoman Capitulations in the Sixteenth Century: The Cases of Dubrovnik and Venice”, *Mediterranean World*, 査読無, 20, 2010, pp. 199-207
- ㉛ 勝田俊輔「秘密結社と国家—アイルランドの1823年法を中心に」深沢克己他編『友愛と秘密のヨーロッパ社会文化史—古代秘儀宗教からフリーメイソン団まで』(東京大学出版会), 査読無, 2010, pp. 271-299
- ㉜ 千葉敏之「秘儀・啓示・革新—ジェルベール・ドリャクとオットー三世の紀元千年」深沢克己他編『友愛と秘密のヨーロッパ社会文化史—古代秘儀宗教からフリーメイソン団まで』(東京大学出版会), 査読無, 2010, pp. 71-108
- ㉝ 加藤玄「バステード」吉田伸之他編『伝統都市 1 イデア』(東京大学出版会), 査読無, 2010, pp. 249-259
- ㉞ 黒木英充「ギリシア・カトリックのミット(宗教共同体)の独立(一八四八年)」『世界史史料 8』(岩波書店), 査読有, 2009, pp. 184-185
- ㉟ 勝田俊輔「宗教と公共性—アイルランドにおける宗派間対話の事例から」『近代イギリスと公共圏』(昭和堂), 査読有, 2009, pp. 219-239
- ㊱ 加藤玄「サン・スヴェール修道院『ベアトウス黙示録註解』転写文書—偽文書転写過程をめぐる」『史艸』, 査読無, 50, 2009, pp. 25-43
- [学会発表] (計70件)
- ① 黒木英充「レバノン・シリア移民のネットワーク—その現況説明と起源に関わる試論」, 帝国史研究会第9回例会, 2013年3月23日, 武蔵大学(東京都)
- ② KUROKI, Hidemitsu, “Outsiders in Aleppo, 1849”, Research meeting of “Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies”, 2013年2月2日, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

- (東京都)
- ③ 黒木英充「シリア内戦の歴史的要因—社会変動と国際的介入の複合」公開シンポジウム「混迷のシリアを読み解く」, 2013年1月27日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ④ 深沢克己「相剋と融和の近世ヨーロッパ宗教社会史—共同研究の成果と展望」, 同志社大学文化史学会大会, 2012年12月1日, 同志社大学 (京都府)
- ⑤ 堀井優「近世カイロとその記憶 (Early Modern Cairo and Its Memory)」, 同志社大学人文科学研究所第12研究・公開講演会「過去の記憶の場としての近代」, 2012年11月23日, 同志社大学今出川校地 (京都府)
- ⑥ 黒木英充「東アラブ地域におけるエスニシティと宗派主義の批判的再検討」, 史学会大会公開シンポジウム「エスニシティと歴史学」, 2012年11月10日, 東京大学本郷キャンパス (東京都)
- ⑦ SAITO, Hiromi, “Religious policy in early modern Venice”, International Symposium: Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World, 2012年10月21日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ⑧ HORII, Yutaka, “Religious minorities and foreigners in Ottoman Cairo”, International Symposium: Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World, 2012年10月21日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ⑨ CHIBA, Toshiyuki, “Conversion in form of reductio. The church union at the Council of Ferrara-Florence (1438-39)”, International Symposium: Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World, 2012年10月21日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ⑩ KATO, Makoto, “Jews in late medieval Navarre”, International Symposium: Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World, 2012年10月21日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ⑪ NISHIKAWA, Sugiko, “When in Rome...”: religious practice by Anglicans on the Continent in the 17th and early 18th centuries”, International Symposium: Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World, 2012年10月20日, 東京大学駒場キャンパス (東京都)
- ⑫ 黒木英充「論評・羽田正『新しい世界史へ』」, 比較地域体系研究会, 2012年9月10日, 東京大学東洋文化研究所 (東京都)
- ⑬ NISHIKAWA, Sugiko, “Confessional trans-state networks in a religious cold war”, 1713-2013: The Peace of Utrecht Revisited, 2012年6月8日, Centro de Ciencias Humanas y Sociales, CSIC (Madrid, Spain)
- ⑭ KUROKI, Hidemitsu, “Dragomanity: A Hypothesis on the Origin of Networking Abilities of Modern Lebanese and Syrian Migrants”, Lecture of Middle East Institute, 2012年3月23日, Middle East Institute, The National University of Singapore (Singapore)
- ⑮ KUROKI, Hidemitsu, “Research Range of our Project”, Workshop “Lebanese and Syrian Migrants: Integration and Interaction in the Global Age”, 2012年2月17日, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (東京都)
- ⑯ KUROKI, Hidemitsu, “‘Outsiders’ at Administrative Center of Aleppo, 1849”, 4th Workshop of Human Mobility and Multiethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies, 2012年2月4日, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (東京都)
- ⑰ KUROKI, Hidemitsu, “Aleppo Revolts in Urban-Rural Settings (1775-1850)”, Symposium “Urban Violence in the Middle East”, 2011年12月9日, Zentrum Moderner Orient (Berlin Germany)
- ⑱ 深沢克己「啓蒙の世紀のフリーメイソン—石工伝説から騎士伝説へ」, 白山史学会第49回大会, 2011年11月26日, 東洋大学 (東京都)
- ⑲ KUROKI, Hidemitsu, “Neither ‘Western’ nor ‘Orthodox’: Establishing Greek Catholic Identity in the Ottoman Empire and Beyond”, The second international workshop: “Religious conflict, religious concord in Europe and the Mediterranean world: study of comparative history”, 2011年10月29日, 東京大学本郷キャンパス (東京都)
- ⑳ 齊藤寛海「黒海のイタリア商人」, 東北学院大学オープン・リサーチ・センターヨーロッパ・グローバリゼーションと

- 諸文化圏の変容 研究プロジェクト, 2011年10月22日, 東北学院大学(宮城県)
- ⑳ KUROKI, Hidemitsu, "Urban Space and Coexistence: Presence of a Muslim Notable Family in 'Christian Quarters' of Ottoman Aleppo", 3rd Workshop of Human Mobility and Multiethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies, 2011年9月2日, Japan Center for Middle Eastern Studies (Beirut, Lebanon)
- ㉑ KUROKI, Hidemitsu, "Visible and Invisible Borders of Syria and Lebanon", GCOE Reshaping Japan's Border Studies - Summer School, 2011年8月4日, 北海道大学スラブ研究センター(北海道)
- ㉒ 黒木英充「シリア反乱の新しさと国際環境」, 東京外国語大学 AA 研「中東・イスラーム圏基幹研究主催講演会「シリアの行方」, 2011年7月3日, 学士会館(東京都)
- ㉓ 堀井優「16世紀のエジプトとその周辺—ヴェネツィア人領事の報告書から」, 第35回地中海学会大会シンポジウム, 2011年6月19日, 日本女子大学(東京都)
- ㉔ NISHIKAWA, Sugiko, "Confessional trans-state networks in a religious cold war", Rethinking the Peace of Utrecht 1713: preparatory workshop for the Conference in Madrid 2011, 2011年5月7日, Universität Osnabrück (Osnabrück, Germany)
- ㉕ NISHIKAWA, Sugiko, "Protestant propaganda in a cold war of religion: from Hartlib to SPCK", The Grand Duchy of Lithuania and Protestant Europe in the 17th Century: International Conference to mark the 350th anniversary of the Chylinski Bible, 2011年5月2日, Lithuanian Institute of History (Vilnius, Lithuania)
- ㉖ 黒木英充「アラブ革命の歴史的背景」, 文部科学省世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「中東とアジアを繋ぐ新たな地域概念・共生関係の模索」主催ワークショップ「アラブ大変動」を読む: チュニジア、エジプトの民衆パワーはどこへ行くのか」, 2011年3月3日, 東京外国語大学(東京都)
- ㉗ 堀井優「オスマン帝国支配期カイロのヨーロッパ人地区関連史料について」, 文化史学会大会, 2010年12月4日, 同志社大学(京都府)
- ㉘ KUROKI, Hidemitsu, "A quest for the origin of high mobility and networking ability of Lebanese and Syrian migrants: Its historical backgrounds and contemporary dynamics", Migrations, Mobility and Globalization: 2nd Symposium of Consortium for Asian and African Studies, 2010年11月26日, INALCO (Paris, France)
- ㉙ FUKASAWA, Katsumi (modérateur), "Le jansénisme : spiritualité et polémique", Journée d'études dix-septémistes françaises au Japon : théâtre, poésie, philosophie, histoire des idées, 2010年11月3日, 早稲田大学(東京都)
- ㉚ NISHIKAWA, Sugiko, "The World of J.C. Werndli: Zurich, Sandtoft and Wraisbury", Fifth International Huguenot Congress, 2010年9月3日, The University of Ulster (Londonderry/Derry, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)
- ㉛ HORII, Yutaka, "The Ottoman Capitulations and the Europeans in Egypt", 一橋大学地中海研究会トリエステ・ワークショップ (Connectivity and Micro-Region in the Mediterranean (II)), 2010年9月2日, Università degli Studi di Trieste (Trieste, Italia)
- ㉜ 深沢克己「高校世界史と大学の歴史教育を結ぶもの」, 日本西洋史学会第60回大会大シンポジウム「世界史教育の現状と課題」, 2010年5月29日, 別府国際コンベンションセンター(大分県)
- ㉝ 黒木英充「『エジプト誌』と地域研究」, 日本中東学会第26回年次大会公開講演会・シンポジウム, 2010年5月8日, 中央大学多摩キャンパス(東京都)
- ㉞ KUROKI, Hidemitsu, "Too Many Enemies: Emergence of a Millet for Greek Catholics in the Eighteenth and Nineteenth Centuries", International Symposium: The Otherness and Beyond, 2009年12月5日, 東京外国語大学アジア・アフリカ研究所大会議室(東京都)
- ㉟ 加藤玄「エドワード一世の大陸巡幸—1286-9年のアキテーヌ公領滞在を中心に」, 第107回史学会大会, 2009年11月8日, 東京大学本郷キャンパス(東京都)
- ㊱ FUKASAWA, Katsumi, "Du Rite Français au Rite Écossais Rectifié : le choix de la Loge de la Triple Union de Marseille à la fin du XVIII<sup>e</sup> siècle", Diffusions circulations des pratiques maçonniques en Europe et en Méditerranée, XVIII<sup>e</sup>-XIX<sup>e</sup> siècles. Colloque international des 2 et 3 juillet 2009, 2009年7月2日, Université de Nice

Sophia Antipolis (Nice, France)

〔図書〕(計16件)

- ① マキアヴェッリ (齊藤寛海訳) 『フィレンツェ史』、岩波書店、上巻、2012、536p
- ② マキアヴェッリ (齊藤寛海訳) 『フィレンツェ史』、岩波書店、下巻、2012、551p
- ③ 西川杉子 (木畑洋一他編) 『近代イギリスの歴史』、ミネルヴァ書房、2011、pp. 25-52
- ④ 深沢克己・齊藤寛海 (竹中克行他編) 『朝倉世界地理講座—大地と人間の物語 第7巻 地中海ヨーロッパ』、朝倉書店、2010、pp. 86-91, 180-183, 190-196
- ⑤ 深沢克己編 『ユーラシア諸宗教の関係史論—他者の受容、他者の排除』、勉誠出版、2010、307p
- ⑥ 深沢克己・桜井万里子編 『友愛と秘密のヨーロッパ社会文化史—古代秘儀宗教からフリーメイソン団まで』、東京大学出版会、2010、347p
- ⑦ 勝田俊輔・西川杉子 (近藤和彦編) 『イギリス史研究入門』、山川出版社、2010、pp. 204-229, 255-271
- ⑧ NISHIKAWA, Sugiko (ed.), *Odysseus* (『東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要』別冊1)、2010、160p
- ⑨ 修道士マルクス・修道士ヘンリクス (千葉敏之訳) 『西洋中世奇譚集成 聖パトリックの煉獄』、講談社、2010、238p
- ⑩ ピエールニヴ・ボルパール (深沢克己訳) 『「啓蒙の世紀」のフリーメイソン』、山川出版社、2009、147p
- ⑪ 西川杉子 (森田安一編) 『ヨーロッパ宗教改革の連携と断絶』、教文館、2009、pp. 91-106
- ⑫ 西川杉子 (高柳俊一他編) 『キリスト教の歴史』第2巻、山川出版社、2009、pp. 25-48, 62-77
- ⑬ 千葉敏之・高橋慎一郎編 『中世の都市—史料の魅力、日本とヨーロッパ』、東京大学出版会、2009、269p
- ⑭ 堀井優 (林康史編著) 『ネゴシエイション—交渉の法文化』、国際書院、2009、pp. 157-176
- ⑮ 勝田俊輔 『真夜中の立法者キャプテン・ロッカー—19世紀アイルランド農村の反乱と支配』、山川出版社、2009、280p

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/sokokuyuwa/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

深沢 克己 (FUKASAWA KATSUMI)

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授  
研究者番号：60199156

### (2) 研究分担者

齊藤 寛海 (SAITO HIROMI)

信州大学・教育学部・特任教授

研究者番号：00020628

黒木 英充 (KUROKI HIDEMITSU)

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究科・教授

研究者番号：20195580

西川 杉子 (NISHIKAWA SUGIKO)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：80324888

堀井 優 (HORII YUTAKA)

同志社大学・文学部・准教授

研究者番号：70399161

勝田 俊輔 (KATSUTA SHUNSUKE)

東京大学・大学院人文社会系研究科・准教授

研究者番号：00313180

千葉 敏之 (CHIBA TOSHIYUKI)

東京外国語大学・外国語学部・准教授

研究者番号：20345242

加藤 玄 (KATO MAKOTO)

日本女子大学・文学部・准教授

研究者番号：00431883

### (3) 連携研究者

踊 共二 (ODORI TOMOJI)

武蔵大学・人文学部・教授

研究者番号：20201999

(H23：研究協力者)

宮野 裕 (MIYANO YUTAKA)

岐阜聖徳学園大学・教育学部・准教授

研究者番号：50312327

坂野 正則 (SAKANO MASANORI)

武蔵大学・人文学部・専任講師

研究者番号：90613406

(H21 から H22 まで：研究協力者)

辻 明日香 (TSUJI ASUKA)

早稲田大学・非常勤講師

研究者番号：60549509

### (4) 研究協力者

宮武 志郎 (MIYATAKE SHIRO)

普連土学園・専任教諭

那須 敬 (NASU KEI)

国際基督教大学・教養学部・上級准教授

研究者番号：40338281

(H21 から H22 まで：連携研究者)

山本 大丙 (YAMAMOTO TAIHEI)

早稲田大学・非常勤講師

藤崎 衛 (FUJISAKI MAMORU)

東京大学・大学院人文社会系研究科・助教

研究者番号：50503869

(H23 より)